

整理番号 S-99

出 展 織物欠点解析事例集(第 2 集)

欠 点 名 強度不足(仕上温異常)

品 名 交織ブラウス地

試料形態 織物

組 織 平

糸 使 い

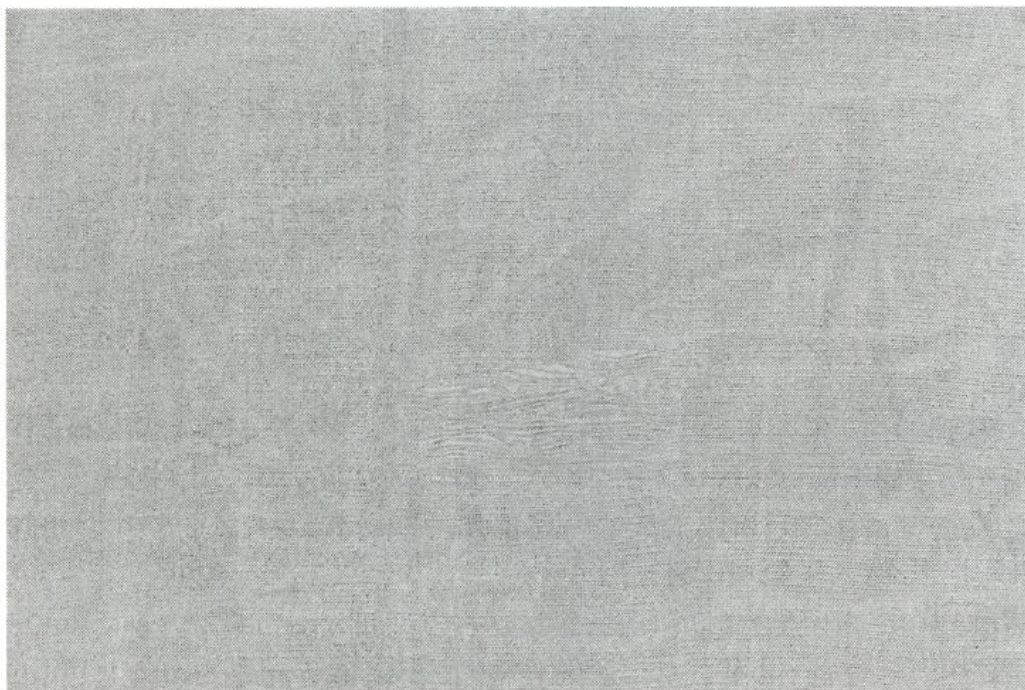
たて糸:ナイロン 15d/1f

よこ糸:綿/麻混紡糸 20^s

欠点発生状況

国内で製織・染色加工し、輸出したもので、輸出先でブラウスに縫製し、市場に出したところ、布地が弱いというクレームが生じたものである。たて糸が極端に弱いところがあり、その位置は一定していない。よこ糸の強さには異常がない。

試料写真



試験結果

(1)強伸度測定(たて糸)

	正常糸	異常糸
強 度 (gf/本)	71.4	9.5
伸 度 (%)	36.0	5.0

(2)電子顕微鏡観察

・脆弱部分のたて糸(ナイロン糸)が圧迫されて平たくつぶれている箇所が認められた。



写真 1

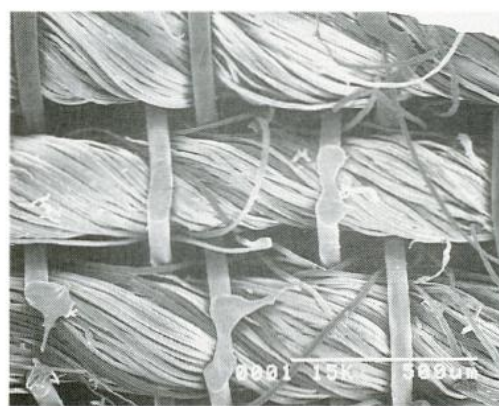


写真 2

所 見

強伸度測定の結果、欠点部分のたて糸が異常に強度、伸度ともに小さいことが認められたのでその部分を電子顕微鏡で観察したところ、裏側は異常なかったが、表側のたて糸のよこ糸と重なる山の部分が、潰れたり、切れかかっている箇所が認められ、また、一定方向に擦られたような形状をしていることが認められた。

以上のことから、本欠点は縫製・仕上げ段階のアイロン掛けの際に、綿・麻に合った温度でプレスされたために、融点の低いナイロンだけが熱により損傷されたために生じたものであると推察される。